



①・・・年長最後のもりのこっこで、まずは歩いて庄内のお寺巡り。
4つの寺を巡ります。庄内神社の宮司でもある理事長先生が子どもたちに説明します。
自分たちの住み慣れた街の新しい側面を知る事も、当幼稚園のもりのこっこならではのです。



③・・・服部緑地公園に無事到着。片道約4キロを軽々歩き切った子どもたち。
到着後は、美味しい美味しい栄養士さん手作りの温かいお味噌汁を頂きました。
「あったかいなー。」と心も体もぽっかぽか。
その後は、リレー遊びやだるまさんが転んだなど好きな遊びを楽しみました。

当幼稚園の「もりの子っこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」
が、「森の子ども」になるという意味です。

能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。

人工遊具では、遊びません。子ども達にとって本当の遊具となるのは自然だからです。
普段は出来ない体験を、五感を活かして感じられるもりのこっこの内容をご覧ください。
(庄内の保育の根っこ参照)



令和3年 1月25日 『庄内っこ日和』 年長もりのこっこ冬 服部緑地まで歩いていこう 庄内子どもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

この『庄内っこ日和』は、昨年度から掲示用として始めた、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする"ドキュメンテーション"です。

晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。このお便りを通して、日々の子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。今回は、年長もりのこっこ(冬)の様子を配信したいと思います。今回はお父さん・お母さん計9名の方に保育ボランティアで参加して頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回のねらい: 保育者や他児と一緒に目的地まで歩き、達成感を味わう

②・・・行き道も楽しんで歩いている様子の子もたち。楽しみながらも「車きたて」と友達に注意を促す子どもがいたり、川を見て「なんかおで」と魚を見つけたりなど周りをよく見て散歩を、楽しむ様子がありました。

友達と住み慣れた街を歩きながら景色を見る事は、いつもと違う見え方に見えたように思えます。



④・・・帰り道も早々歩く今年の年長組さん。

予定より早く庄内に戻れたので、野田中央公園で少し遊ぶ事に。

「先生！鬼ごっこしよ！」の声に、大人が驚き…
子ども達は、体力が有り余っている様子でした。

往復約10キロ、大人の歩数で約15000歩。

神社に到着した後は、頑張って一緒に歩いて下さったお母さん達に感謝の拍手を送りました。

みんな良い夢みれたかな？今年も、子どもにとっても、大人にとっても良い思い出となった年長最後のもりのこっこでした。



